

新公立病院改革プランの概要

団体コード	22001
施設コード	004

団 体 名	静岡県										
プ ラ ン の 名 称	静岡がんセンター病院事業経営見直し										
策 定 日	平成 29 年		3 月		6 日						
対 象 期 間	平成 28 年度		～		令和 2 年度						
病院の現状	病 院 名	静岡県立静岡がんセンター					現在の経営形態		公営企業法全部適用		
	所 在 地	静岡県駿東郡長泉町下長窪1007番地									
	病 床 数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症				計
			615								615
病 床 数	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期				計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
		565	50						615		
診 療 科 目	科 目 名	内科、呼吸器外科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、内分泌・代謝内科、女性内科、内視鏡内科、緩和ケア内科、感染症内科、外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、呼吸器外科、脳神経外科、乳腺外科、食道外科、胃腸外科、大腸外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、歯科、麻酔科（計37科目）									
① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	① 地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割（対象期間末における具体的な将来像）	<ul style="list-style-type: none"> ・高度先端医療の提供等を行う特定機能病院として、駿東田方二次医療圏、静岡県内のがんに特化した急性期患者に対し、状態の早期安定化に向けた診療密度が特に高い医療の提供(高度急性期機能)を行う。また、世界、日本のがん医療の現況を意識しながら、引き続き『がん医療のフロントランナー』として活動していけるよう、2016年度～2024年度にかけて以下を推進していく。 <ol style="list-style-type: none"> 1 低侵襲性手術、2 放射線・陽子線治療一体化、3 がん薬物療法・情報処方、4 再発転移・原発不明病変治療、5 がん診断標準化・高精度化、6 支持療法、緩和ケア、7 AYA世代の診療・ケア、8 高齢者がん治療・ケア、9 発症前診断、予防的外科手術、10 よろず相談・患者家族支援センター・患者図書館・患者サロン、11 リンクナース制度、12 プロジェクトHOPE ・静岡県がん診療連携拠点病院として、地域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院等と連携しながら、静岡県の「がん医療の均てん化」を推進していく。 									
	令和7年(2025年)における当該病院の具体的な将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・高度先端医療の提供等を行う特定機能病院として、駿東田方二次医療圏、さらには静岡県内のがんに特化した急性期患者に対し、状態の早期安定化に向けた診療密度が特に高い医療の提供(高度急性期機能)を行う。 ・静岡県がん診療連携拠点病院として、地域がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院等と連携しながら、静岡県の「がん医療の均てん化」を推進していく。 									
	② 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについての情報収集とともに、地域包括ケア病院との連携によるがん患者の安心・安全な在宅医療への移行、在宅療養の継続について近隣地域の訪問看護ステーション支援など静岡県立静岡がんセンターが果たすべき役割を検討していく。 									
	③ 一般会計負担の考え方（繰出基準の概要）	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な経営を行いつつ、静岡がんセンターが県内がん医療の中核的な役割を果たしていくため、高度医療に要する経費をはじめとする計9項目について、病院負担とすることが適当でない経費及び病院負担が困難な経費として、国の定める基準等に従って、県の一般会計が負担する。 									
	④ 医療機能等指標に係る数値目標	※各年度									
1)医療機能・医療品質に係るもの	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考	
手術件数(件)	4,648	4,669	4,587	4,900	4,736	4,900	4,786	4,900	4,595		
紹介率(%)	82.2	84.2	85.2	80.0	84.6	80.0	84.1	80.0	82.5		
逆紹介率(%)	70.7	63.9	66.7	60.0	60.7	60.0	63.2	60.0	67.5		
放射線治療件数(件)	39,505	38,430	38,880	40,000	36,505	40,000	39,762	40,000	36,803		
2)その他	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考	
患者満足度(%) (入院)	97.9	98	98.2	95.0以上	97.5	95.0以上	97.2	95%以上	-	※1	
患者満足度(%) (外来)	95.9	96.4	95	95.0以上	97.3	95.0以上	97.6	95%以上	-	※1	
⑤ 住民の理解のための取組	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県民に向け、新聞、テレビ、ラジオを通じた静岡がんセンターの活動状況を広報するとともに、公開講演会、報道機関との共催での公開講座を開催していく。 ・県民の健康期から終末期の各段階に応じたがんに関する総合的な支援として、県内のがん予防指導者、がん相談業務担当者、介護職員、看護師、歯科医師などに向けた各種研修会を開催していく。 										

② 経営の効率化	① 経営指標に係る数値目標	※各年度									
	1) 収支改善に係るもの	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考
	後発医薬品の使用割合(%)	100.4	100.9	100.3	100.0	100.2	100.0	100.7	98.1	99.1	
	医業収支比率(%)	80.4	82.6	81.9	80.0	82.5	81.9	84.4	81.8	82.5	
	2) 経費削減に係るもの	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考
	後発医薬品の使用割合(%)	61.8	79.4	82.4	70.0	78.1	70.0	77.7	70.0	79.2	
	職員給与費の対医業収益比率(%)	45.5	44.1	44.4	45.2	44.9	45.3	42.8	43.9	44.0	
	材料費の対医業収益比率(%)	40.6	41.6	41.8	41.3	43.4	42.6	46.1	47.9	48.0	
	経費の対医業収益比率(%)	23.0	20.3	20.7	22.1	20.3	22.6	19.5	21.2	20.2	
	3) 収入確保に係るもの	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考
	病床稼働率(%) *	87.4	91.6	90.8	90.0	89.7	91.0	91.1	81.9	81.6	
	1日当たり外来患者数(人)	1,160	1,177	1,189	1,230	1,209	1,230	1,258	1,245	1,245	検診及び入院中他科診療除く
	患者1人当たり入院単価(円)	65,096	65,572	66,442	65,064	69,030	69,572	70,202	74,309	74,545	
	患者1人当たり外来単価(円)	36,942	40,334	41,888	41,176	43,909	42,754	49,466	53,352	53,540	
看護必要度(%)	18.9	31.1	31.0	30.0	29.1	25.0	30.7	28.0	38.4	※30年度からII適用	
4) 経営の安定性に係るもの	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(計画)	H30(実績)	R1(計画)	R1(実績)	R2(計画)	R2(実績)	備考	
流動性比率(%)	204.9	208.3	202.3	200.0	188.7	194.2	183.9	227.7	171.5		
医師数	128	138	142	150	147	165	156	154	154	※2	
看護師数	587	618	643	604	661	629	665	686	686	※2	
上記数値目標設定の考え方	・令和元年度実績、令和2年度実績見込みに基づき、収入確保と経費削減に努め、収支バランスのとれた安定した適正な財政運営を図る。なお、診療報酬の改定等の経営環境変化により影響を受けるため、当プラン策定後、必要に応じて見直すこととする。										
② 経常収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	・収入確保と経費削減に努め、収支バランスのとれた安定した適正な財政運営を図るため、毎年度経常収支比率100%以上の達成を目標とする。										
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	民間的経営手法の導入	・経営状況の院内周知や各部署の業務ヒアリング等を通じ、職員に引き続き地方公営企業法全部適用の病院としての経営意識付けを図っていく。 ・地方公営企業法全部適用の病院として、病院運営における機動性の一層の向上を図る。									
	事業規模・事業形態の見直し	・令和2年4月1日に全床開床したところであり、今後、引き続き経営形態を検討することとしているが、病院運営の機動性の向上や職員の経営参画意識の醸成など、これまでの取組を通じて得られた現行の地方公営企業法の全部適用により得られるメリットを生かした経営改善に取り組み、一層の経営合理化に努めていく。									
	経費削減・抑制対策	・医療機器の計画的な更新に努めていく。 ・薬品値引き交渉、診療材料の同等廉価品への切り替えなどにより一層の経費削減に努めていく。 ・委託業務の複数年契約化、仕様見直しを引き続き進め、経費圧縮に努めていく。									
	収入増加・確保対策	・病床稼働率等の各種経営指標を定期的な分析評価を行い、必要な場合には幹部から関係部門への改善を指示していく。 ・高度がん専門医療機関として積極的に高度医療に取り組み、一層の診療収益の確保を図っていく。 ・未収金の新規発生を抑制するため、クレジットカードの利用促進、分納希望者への対応、高額療養費制度の周知に努めていく。 ・手術件数の増、適正な在院日数の設定、診療保険点数の請求漏れ解消などに努めていく。 ・一般会計からの操出金の確保に努めていく。									
	その他	・医師確保…レジデント制度の充実、医療クレークの活用を図る。 ・看護師確保…看護学生への早期からのアプローチ、看護師修学資金の活用、看護職員の離職対策、認定看護師や連携大学院制度による水準向上の機会提供等様々な対策を実施する。 ・多職種がん専門レジデント制度などの各種専門研修の充実化を図り、人材の確保を図っていく。 ・医療の推進に必要な医師、看護師、メディカルスタッフの確保については、医師レジデント制度、修学資金貸与制度(看護師)、連携大学院制度、多職種がん専門レジデント制度などに引き続き取り組んでいく。 ・がん患者に高度専門医療を継続して提供し、臨床研究体制を強化していくため、医師の増員に努めていく。 ・県内がん医療の均てん化…養成した人材の他地域がん診療連携拠点病院への派遣を図る。									
④ 新改革プラン対象期間中の各年度の収支計画等	・毎年度収入確保と経費削減に努め、収支バランスのとれた安定した適正な財政運営を図る。										
③ 再	当該公立病院の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準(過去3年間連続して70%未満) <input checked="" type="checkbox"/> 地域医療構想等を踏まえ医療機能の見直しを検討する必要がある									

編・ネットワーク化	<p>(静岡県駿東地方医療圏)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域内には41病院(精神科病院を除く)があり、内訳は500床以上が静岡がんセンターほか1病院、200床以上500床未満が6病院、200床未満が33病院となっている。(令和2年7月現在) ・令和2年(2021年)7月の病床機能報告における医療圏内稼働病床数は5,862床であるのに対し、令和7年(2025年)の必要病床数は4,929床と推計されている。病床機能別に見ると、急性期病棟で約800床が余剰、回復期病棟で約560床の不足が生じると予測されている。 ・静岡がんセンターは医療圏内唯一の高度先端医療の提供を行う特定機能病院として診療業務を行っており、現在、高度急性期病棟565床、急性期病棟50床の615床で運営している。 				
当該病院に係る再編・ネットワーク化計画の概要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="343 331 462 376"><時期></td> <td data-bbox="462 331 1536 376"><内容></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 376 462 539"></td> <td data-bbox="462 376 1536 539"></td> </tr> </table>	<時期>	<内容>		
<時期>	<内容>				
(4) 経営形態の現況 (該当箇所)に✓を記入)	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合				
経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所)に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行				
経営形態見直し計画の概要 (注) 1詳細は別紙添付可 2具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="343 705 462 750"><時期></td> <td data-bbox="462 705 1536 750"><内容></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 750 462 922">令和2年4月(615床の全床開棟)以降</td> <td data-bbox="462 750 1536 922"> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月から全床開棟で運用している。 ・今後、経営形態について検討していくこととしているが、病院運営の機動性の向上や職員の経営参画意識の醸成など、これまでの取組を通じて得られた現行の地方公営企業法の全部適用により得られるメリットを生かした経営改善に取り組み、一層の経営合理化に努めていく。 </td> </tr> </table>	<時期>	<内容>	令和2年4月(615床の全床開棟)以降	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月から全床開棟で運用している。 ・今後、経営形態について検討していくこととしているが、病院運営の機動性の向上や職員の経営参画意識の醸成など、これまでの取組を通じて得られた現行の地方公営企業法の全部適用により得られるメリットを生かした経営改善に取り組み、一層の経営合理化に努めていく。
<時期>	<内容>				
令和2年4月(615床の全床開棟)以降	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月から全床開棟で運用している。 ・今後、経営形態について検討していくこととしているが、病院運営の機動性の向上や職員の経営参画意識の醸成など、これまでの取組を通じて得られた現行の地方公営企業法の全部適用により得られるメリットを生かした経営改善に取り組み、一層の経営合理化に努めていく。 				
(5)(都道府県以外記載)新改革プラン策定に関する都道府県からの助言や再編・ネットワーク化計画策定への都道府県の参画の状況	-				
※点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡がんセンターの「経営戦略会議」において点検・評価を行い、必要に応じて修正を行っていく。 ・(参考)経営状況については、県監査委員会による監査、県議会による決算認定により評価を受けている。 				
点検・評価・公表等	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="343 1167 462 1279">点検・評価の時期(毎年〇月頃等)</td> <td data-bbox="462 1167 1536 1279">院内における点検評価:毎年7月頃 (参考) 9月県議会:決算状況提出 12月県議会:決算審査、認定</td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 1279 462 1346">公表の方法</td> <td data-bbox="462 1279 1536 1346">静岡がんセンターのHPで公表</td> </tr> </table>	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	院内における点検評価:毎年7月頃 (参考) 9月県議会:決算状況提出 12月県議会:決算審査、認定	公表の方法	静岡がんセンターのHPで公表
点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	院内における点検評価:毎年7月頃 (参考) 9月県議会:決算状況提出 12月県議会:決算審査、認定				
公表の方法	静岡がんセンターのHPで公表				
その他特記事項	<p>令和2年度計画は、新型コロナウイルス感染症の影響により病床稼働率等の見込みが困難であるため、令和2年度補正予算編成に合わせ、数値の見直しを行った。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ※1 令和2年度の患者満足度調査:新型コロナウイルス感染症の影響により、実施しない。 ※2 令和2年度計画は令和3年3月1日現在、令和2年度実績は、令和3年3月31日現在の医師、看護師現員(常勤) 				

*病床稼働率:(在院患者数(24時現在在院している患者数)+退院患者数)÷実稼働病床数×100

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度								
		H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 計画	H30 (実績)	R1 (計画)	R1 (実績)	R2 (計画)	R2 (実績)
収 入	1. 医 業 収 益 a	23,491	25,519	26,269	26,378	27,355	27,504	29,968	30,523	30,580
	(1) 料 金 収 入	22,707	24,589	25,440	25,451	26,663	26,800	29,265	29,805	29,861
	(2) そ の 他	784	930	829	927	692	704	703	718	719
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	7,042	6,921	7,188	7,337	7,191	7,466	7,029	7,521	7,363
	(1) 他会計負担金・補助金	6,000	5,853	5,939	6,000	5,939	6,000	5,866	6,000	6,000
	(2) 国 (県) 補 助 金	33	35	33	28	31	23	18	65	131
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	219	210	226	192	204	187	197	124	203
	(4) そ の 他	790	823	990	1,117	1,017	1,256	948	1,332	1,029
	経 常 収 益 (A)	30,533	32,440	33,457	33,715	34,546	34,970	36,997	38,044	37,943
支 出	1. 医 業 費 用 b	29,225	30,908	32,055	32,073	33,149	33,564	35,515	37,317	37,058
	(1) 職 員 給 与 費 c	10,678	11,245	11,668	11,934	12,284	12,456	12,820	13,407	13,457
	(2) 材 料 費	9,546	10,620	10,981	10,888	11,869	11,704	13,802	14,615	14,674
	(3) 経 費	5,410	5,175	5,435	5,831	5,553	6,206	5,842	6,480	6,163
	(4) 減 価 償 却 費	2,925	3,146	3,225	2,677	2,667	2,380	2,290	2,112	2,111
	(5) そ の 他	666	722	746	743	776	818	761	703	653
	2. 医 業 外 費 用	1,201	1,238	1,306	1,332	1,312	1,394	1,241	1,471	1,217
	(1) 支 払 利 息	685	634	599	563	563	532	526	488	488
	(2) そ の 他	516	604	707	769	749	862	715	983	729
	経 常 費 用 (B)	30,426	32,146	33,361	33,405	34,461	34,958	36,756	38,788	38,275
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	107	294	96	310	85	12	241	▲ 744	▲ 332	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	27	12	6	1	7	5	5	450	391
	2. 特 別 損 失 (E)	99	151	35	1	23	5	88	506	451
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 72	▲ 139	▲ 29	0	▲ 16	0	▲ 83	▲ 56	▲ 60
純 損 益 (C)+(F)	35	155	67	310	69	12	158	▲ 800	▲ 392	
累 積 欠 損 金 (G)	3,253	3,277	3,374	—	3,500	—	3,502	—	4,136	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	16,648	15,432	15,906	—	17,214	—	14,543	—	13,637
	流 動 負 債 (イ)	8,126	7,409	7,862	—	8,114	—	7,908	—	7,953
	うち一時借入金	0	0	0	—	0	—	0	—	0
翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)										
当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額	(エ)									
差 引	不 良 債 務 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)]	▲ 8,522	▲ 8,023	▲ 8,044	0	▲ 9,100	0	▲ 6,635	0	▲ 5,684
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		100.4	100.9	100.3	100.9	100.2	100.0	100.7	98.1	99.1
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$		▲ 36.3	▲ 31.4	▲ 30.6	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 22.1	0.0	▲ 18.6
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		80.4	82.6	81.9	82.2	82.5	81.9	84.4	81.8	82.5
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$		45.5	44.1	44.4	45.2	44.9	45.3	42.8	43.9	44.0
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額	(H)	▲ 8,522	▲ 8,023	▲ 8,044	0	▲ 9,100	0	▲ 6,635	0	▲ 5,684
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$		▲ 36.3	▲ 31.4	▲ 30.6	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 22.1	0.0	▲ 18.6
使 用 許 可 病 床 数		611床	615床	615床	615床	615床	615床	615床	615床	615床
病 床 利 用 率		84.6	89.0	89.1	—	88.5	—	89.9	—	81.6
病 床 稼 働 率		87.4	91.6	90.8	90.0	89.7	91.0	91.1	81.9	81.6
1 日 あ た り 外 来 患 者 数		1,160人	1,177人	1,189人	1,230人	1,209人	1,230人	1,258人	1,245人	1,245人
入 院 単 価 (人 ・ 日)		65,096円	65,572円	66,442円	65,064円	69,030円	69,572円	70,202円	74,309円	74,545円
外 来 単 価 (人 ・ 日)		36,942円	40,334円	41,888円	41,176円	43,909円	42,754円	49,466円	53,352円	53,540円

*病床利用率:(在院患者数(24時現在在院している患者数)+退院患者数)÷許可病床数×100

*病床稼働率:(在院患者数(24時現在在院している患者数)+退院患者数)÷実稼働病床数×100

*使用許可病床数は、各年度末日現在

団体名 (病院名)	静岡県立静岡がんセンター
--------------	--------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%):百万円、%

年度		H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 計画	H30 (実績)	R1 (計画)	R1 (実績)	R2 (計画)	R2 (実績)
収	1. 企業債	4,356	1,568	952	1,466	1,274	1,786	975	1,205	1,529
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	136	100	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	122	57	539	0	19	1,954	1,970	186	223
収入計 (a)	4,614	1,725	1,491	1,466	1,293	3,740	2,945	1,391	1,752	
うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)										
前年度許可債で当年度借入分 (c)										
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	4,614	1,725	1,491	1,466	1,293	3,740	2,945	1,391	1,752	
支	1. 建設改良費	4,406	1,961	1,027	1,466	1,315	1,842	1,018	2,287	1,627
	2. 企業債償還金	3,013	3,151	3,964	3,958	3,921	3,765	3,765	3,797	3,797
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0		
	4. その他	136	53	50	65	132	2,067	1,566	19	11
支出計 (B)	7,555	5,165	5,041	5,489	5,368	7,674	6,349	6,103	5,435	
差引不足額 (B)-(A) (C)	2,941	3,440	3,550	4,023	4,075	3,934	3,404	4,712	3,683	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	2,919	3,432	3,544	4,023	4,069	3,934	3,404	4,712	3,683
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0		0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0		0	0	0	0
	4. その他	22	8	6	0	6	0	0	0	0
計 (D)	2,941	3,440	3,550	4,023	4,075	3,934	3,404	4,712	3,683	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

区分	年度	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 計画	H30 (実績)	R1 (計画)	R1 (実績)	R2 (計画)	R2 (計画)
収 益 的 収 支		(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		6,000	5,853	5,939	6,000	5,939	6,000	5,866	6,000	6,000
資 本 的 収 支		(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		6,000	5,853	5,939	6,000	5,939	6,000	5,866	6,000	6,000

- (注)
- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
 - 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。